

## 「外来化学療法におけるチーム医療の整備と検証に関する研究」

分担研究者 伊藤良則・乳腺内科・がん研究会有明病院

### 研究要旨:

延べ患者数約 2000 人/月、1 日平均患者数約 120 人の大規模な外来通院治療室において、乳癌 43%、大腸癌 18%、血液癌 8%などの外来治療が行われた。即時に対応が必要な有害事象（114 件/年）は過敏反応 83%、血管外漏出 17%であった。過敏反応の原因薬剤はオキサリプラチン 33%、ドセタキセル 20%、リツキシマブ 17%の順に多かった。これらの有害事象に対応する手順、管理体制についてさらに安全性を高めるための検討が必要である。

### A. 研究目的

外来通院治療室の現状解析と問題点の抽出

### B. 研究方法

後ろ向き調査

#### （倫理面への配慮）

実地診療の後ろ向き調査であるため、倫理的問題を有しない

### C. 研究結果

60 床を有する当院外来通院治療室 ATC で外来通院治療の現状を解析した結果、延べ患者数約 2000 人/月（2000～2500 人）（図 1）、1 日平均患者数約 120 名（90～150）であった。うちわけは乳癌 43%と多く、次いで大腸がん 18%、血液癌 8%などであった（図 2）。即時に対応が必要な有害事象（114 件/年）は過敏反応 83%、血管外漏出 17%であった。過敏反応の原因薬剤はオキサリプラチン 33%、ドセタキセル 20%、リツキシマブ 17%の順に多かった。

### D. 考察

これらの有害事象に対応する手順、管理体制について確認されたが、さらに安全性をたかめるための検討が必要である。

### E. 結論

多様化する治療に対応できる外来治療管理体制の検討が必要である

### F. 健康危機情報

該当なし

### G. 研究発表

#### 1. 論文発表

なし

#### 1) 学会発表

（国内学会）

#### 1) 長崎 礼子 第 27 回日本がん看護学会学術集会

「化学療法看護の質の向上を目指した外来治療センターのチーム医療」「治験を受ける肺がん患者の看護に携わる病棟看護師の役割と実践に関する認識」

「がん化学療法に携わる看護師の実践・関心・重要性の認識」「がん化学療法看護に関する看護師の認識と看護の実態-2006 年度調査と 2011 年度調査の比較-」

### H. 知的所有権の出願・取得状況（予定を含む）

1. 特許取得 該当なし

2. 実用新案登録 該当なし

3. その他

図 1

## 治療のべ患者数

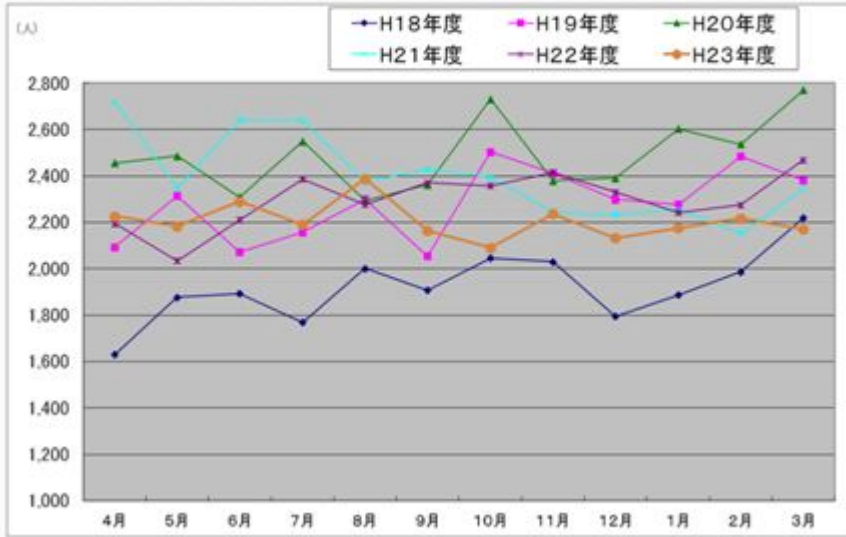


図 2

## 2011年度 薬剤別過敏反応発症件数

